

佐久市生涯活躍のまち構想

【医療連携・健康づくり推進型生涯活躍のまち】

- 入居者の住替え形態 : 大都市移住型
地域的広がり : エリア型
地域特性 : 都市型及び農村型



佐久平駅周辺地区



白田地区

長野県佐久市



- ◆長野県の東部（群馬県と隣接）
- ◆人口 99,614 人（38,244 世帯）〈H26〉
【国勢調査・毎月人口移動調査】
- ◆高速交通の要衝
 - ・石川県金沢市まで開通した北陸新幹線
 - ・首都圏と日本海を結ぶ上信越自動車道、太平洋圏と日本海圏を連結し、関東大環状連携軸を構成する中部横断自動車道
 - ・東京から新幹線で約 70 分、車で約 1 時間 50 分



びんころ地藏



佐久総合運動公園マレットゴルフ場



浅間山・千曲川

国の動向・構想

1 国が示す地方創生の流れ

- ◆「まち・ひと・しごと創生法」を昨年11月に公布
- ◆国・地方における総合戦略の策定が規定
- ◆内閣総理大臣を本部長とする「まち・ひと・しごと創生本部」を設置
- ◆将来にわたり活力ある日本社会を維持するため、「人口減少の歯止め」、「東京一極集中の是正」の必要性を提示
- ◆「人口減少克服」と「地方創生」をあわせて実施

2 国の生涯活躍のまち構想

- ◆高齢者の移住希望実現、地方への人の流れの推進、東京圏の高齢化問題への対応
- ◆東京圏等の大都市に住む高齢者が、健康な段階から希望に応じ地方に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、継続的ケア体制も確保された地域づくりを目指す
- ◆従来の高齢者施設等は、要介護状態になってからの入所・入居が通例であるのに対して、「生涯活躍のまち構想」では、高齢者は健康な段階から入居し、できる限り健康長寿を目指すことを基本
- ◆サービスの受け手として「受け身的な存在」であった高齢者が、仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加する「主体的な存在」として位置付け

佐久市の生涯活躍のまち構想

1 佐久市の人口動態

- ◆平成22年（2010年）をピークに減少に転じ、平成52年（2040年）には、85,000人程度に減少すると推計
- ◆「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」負のスパイラル（悪循環の連鎖）を断ち切る必要性
- ◆人口減少に対する様々な施策や地域の活性化策を講じ、持続可能で、住民が自分の住む地域に誇りを持てるまちづくりを推進

2 生涯活躍のまち構想の導入

- ◆東京都在住者のうち、50代男性の半数以上、また、50代女性及び60代の約3割が地方への移住の意向がある
- ◆佐久市への新たな人の流れを生み出すこと、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、本市に住む全ての人々が安心して生活を営み、子どもを生み育てられる社会をつくり出すことが急務
- ◆佐久市に「しごと」をつくり、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立することが必要
- ◆本市は、これまでも移住推進施策を積極的に取組んでおり、また、医療・介護に強みを持ち、本事業を推進するのに適した素地を有している
- ◆本事業に積極的に取組むことにより、移住者の獲得を目指し、住民が主体性と自主性を持ち、当事者として自ら行動する元気で活力のあるコミュニティの形成を図る

佐久市の持つ地域特性

1 世界最高健康都市構想の推進

- ◆市民の健康づくり推進に力を入れた施策の実施
- ◆身体健康だけでなく、心の健康（幸福感）についても追求

2 医療・介護環境の充実、地域保健予防活動の取組み

- ◆浅間総合病院、佐久総合病院による先進的な地域医療の取組み
- ◆地域の高度医療を担う佐久医療センター
- ◆佐久大学看護学部、信州短期大学部介護福祉学科、佐久総合病院看護専門学校等での人材育成
- ◆活発な保健指導員の活動

3 良好な自然環境、災害の少なさ

- ◆豊かな自然、おいしい水、澄んだ空気
- ◆晴天率の高さ、日照時間の長さ
- ◆活断層は発見されていない
- ◆水資源の積極的保全

4 高速交通網の結節点

- ◆北陸新幹線 JR 佐久平駅を中心とした駅周辺整備により、平成 24 年の商圈人口は、県内第 3 位、吸引力係数は県内第 1 位（長野県商圈調査報告書）
- ◆市内 6 ヶ所（開設予定含む）のインターチェンジ
- ◆首都圏との時間的近さ

佐久市の持つ地域特性

5 移住推進施策の積極的な取り組み

- ◆空き家バンク「おいでなんし！佐久」成約数日本一
- ◆空き店舗、空き工場の情報についても紹介
- ◆JR東日本「大人の休日倶楽部」とのタイアップ
 - ・「大人の住まいプラン」
 - ・「移住体験ツアー」
- ◆移住体験住宅による「お試し居住」
- ◆佐久市移住促進サポートプランによる移住者に対する住まいや通勤費に対する支援

6 盛んな地域活動

- ◆地域公民館における先駆的な事業、地区公民館との連携
- ◆盛んな生涯学習・生涯スポーツ活動
- ◆「学校給食応援団」、「市民活動サポートセンター」
- ◆地域特有の伝統芸能

7 健康長寿のまち

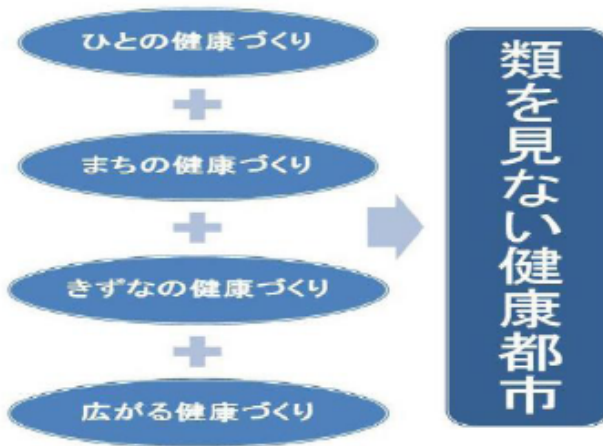
- ◆ぴんころ地蔵（ぴんぴんころりの推進）
- ◆お年寄りの就業率が高く、一人あたりの医療費が低い
- ◆減塩啓発、食育推進

世界最高健康都市構想

目指す「健康な都市」とは、主体である市民を中心にして、市民を取り巻く家族・職場・地域の人々との繋がりや関係が健全であり、個々を取り巻くまちそのものの環境も健やかである都市

健康の協奏

～ みんなで奏でる健康のシンフォニー ～



リーディングプロジェクト

市民の健康づくりサポートプロジェクト	地域完結型医療構築プロジェクト	健やか佐久っ子プロジェクト	健康産業・交流推進プロジェクト
市民一人ひとりの健康づくりのサポート体制を構築	地域で医療が提供される体制の構築と支援	安心して産み、健やかに育つ環境を充実	医療・健康関連産業の創出と交流を推進
<ul style="list-style-type: none"> ・保健活動の評価と地域診断の実施 ・新しい視点での保健活動の展開 ・食育の推進 ・自殺防止の充実 ・気軽に運動できる施設とサポート体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅間総合病院の施設整備 ・佐久総合病院の再構築の支援 ・病病連携、病診連携の推進 ・医療機関連携等の周知と情報共有の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期医療等の更なる充実 ・母子保健に関する分野間の連携強化と事業充実 ・口腔ケアの周知と啓発 ・食育の展開 ・保育所等の整備 ・子育て支援ネットワークの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業創出等による佐久メディカルバレーの構築 ・環境、健康を活用した体験型観光の推進 ・医療や健康に着目した交流の創出

「世界最高健康都市の構築」の実現に向け、市民の皆さんが感じている住みやすさ感・健康感・幸福感に関する意識を伺うことを目的としてアンケート調査を実施しています。住みやすさ感・健康感・幸福感について定期的に把握する中で、世界最高健康都市の構築を推進していきます。

佐久市の医療・介護に係る取組み

佐久市在宅医療・介護の連携体制推進事業の概要

元気高齢者、地域住民を
とりまく社会環境



5) 地域住民への啓発活動
市民公開講座などを通して市民と共に医療と福祉の将来を考えます。医療介護従事者のいきいきサロンへのボランティア参加を促し交流を図ります。

6) 多職種連携の促進
市内の医療、福祉関係者間で、人的交流を推進。互いに顔の見える関係を構築し、円滑な連携を目指します。また、ITシステムによる患者の情報共有を図ります。

7) 地域リーダーレベルアップ研修
地域の医療・福祉を牽引する多職種リーダーを育成する研修会を企画します。

2) 地域包括ケア実践事業との連携

「地域包括実践事業」と連携し、地域の医師、地域包括支援センターを中心に介護事業所、商工会、警察、民生委員などの方たちと地域包括ケアにおける医療介護連携について検討を進めます。

在宅医療介護連携推進の主体



1) 医療介護連携推進協議会の設置

佐久市が中心となり職業団体、事業団体、市内の病院などが参加し、佐久地域における円滑な医療と介護の連携と介護給付費の適正化が進むよう、課題の解決を進めます。

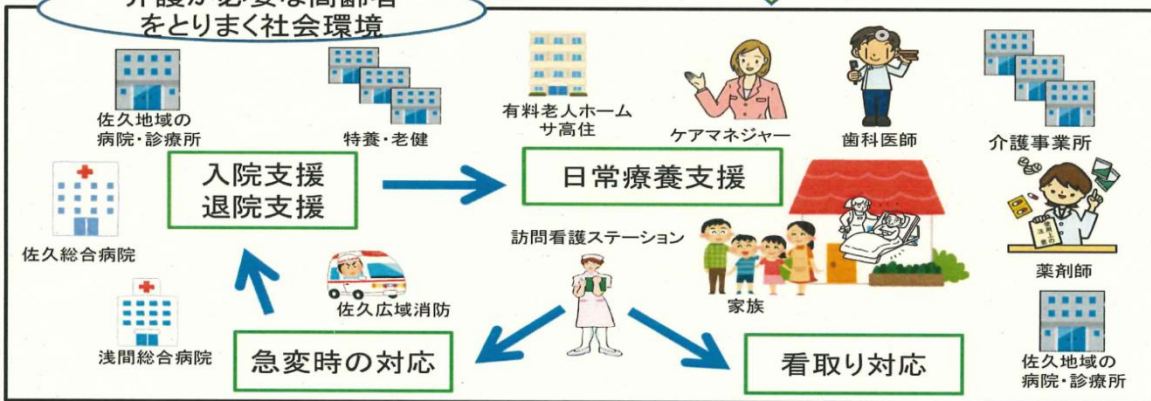
3) 在宅医療24時間体制の整備

佐久医師会在宅医療推進委員会にて在宅医療のバックアップ体制の整備を進めます。

4) 急性期病院と介護事業所・施設との連携体制及び信頼関係の構築

佐久市、消防署、佐久総合病院、浅間総合病院、介護施設・事業所が連携し、入退院時の連携・信頼の構築を進めます。

介護が必要な高齢者
をとりまく社会環境



佐久市の水資源保全に対する取組み

水資源保全サミット

地域の水は地域で守る

～豊かで清らかな水を守り、育むため、私たちがすべきこと～

平成25年10月5日(土) 13:00～17:30
長野県佐久勤労者福祉センター ホール



主催：水資源保全サミット実行委員会

構成団体：小諸市、佐久市、東御市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町、軽井沢町、御代田町、立科町、佐久水道企業団、浅瀬水道企業団

平成25年10月6日 信濃毎日新聞

佐久で県内外31自治体がサミット



地下水保全に向けた共同宣言を採択し、壇上で内容を発表する関係自治体の関係者

地下水保全で共同宣言

ネットワーク構築掲げる

佐久市、小諸市、北佐久郡、南佐久郡の計11市町村と東御市などをつくる実行委員（会長は日、「水資源保全サミット」を佐久、した。共同宣言は、外国資本など、飯山市、北安曇郡松川村による水源地買収とみられる、下高井郡木島平村が共同宣言動きが全国で問題視されるを採択した。中、地下水を次代に引き継ぐ環境づくりが求められている。水道水を使って化粧品を製造している民間企業の谷津広広を動かすインパクトにもなる。工場長が「国の採択にかかわる部分には規制が必要だが、行政は経済活動とのバランスをうまく取ってほしい」と要望を求めた。県内では、地下水の取水量制限といった内容の新条例制定などを進めてきた市町村の17市町村以外で

県内

た。

市の県佐久勤労者福祉センターで開いた。地下水を地域で守っていくため、自治体間で情報を共有するだけでなく、地下水保全の重要性を全国に発信しようと関係。県内外の31自治体が、地下水保全に向けたネットワークづくりを進める共同宣言を採択した。

例を制定した北海道「セコ」町の片山健也町長は「過大な規制が逆に良好な経済活動を促進すると考える。自治体が覚悟を持って取り組むことで国を動かすインパクトにもなる」と述べた。

また、東京財団の平野秀樹上席研究員による基調講演「日本の水資源と持続可能な社会」が、これからの、日本人の「これからの」と題した特別講演もあった。

佐久市移住推進の取組み・優位性



清らかな水とまばゆい緑がおりなす快適都市。

長野県・佐久市で自然とともに暮らす愉しさを。

日照時間が全国トップクラスで晴天日が多く、澄み切った美しい空が広がる佐久市。浅間山、蓼科山などの雄大な山並み、広大な田園風景、そして千曲川の清流をはじめ、人々の心を癒やす大自然に囲まれています。やすらぎと潤い溢る街・佐久市で、新たな感動生活をはじめませんか？



魅力は尽きない、佐久市での暮らし。

1 国内トップレベルの地域医療

佐久市は昭和46年の保健補償員制度発足以来、地域と一体になった保健予防活動が実を結び、今日では「健康長寿のまち」として全国から注目を集めています。先進医療設備の整った病院もあり、また市民1人あたりの医療費も低く、健康で生き生きと暮らせる「健康寿命」の長さも大きな特徴です。



2 農業体験サポートも充実！

先進的な環境を整えながら、どこか懐かしいふるさとの風景が残る佐久市では、「田んぼオーナー制度」「農園体験&田んぼ体験」「書斎まるごと体験」といった各種農業体験サポートを行っています。食物を自分で育て、収穫し食べる喜びを、ぜひご体験ください。



3 宅地・住宅の安定供給を推進 空き家バンクを開設！

人口の増加が進む佐久市では、土地画整理事業による優良な宅地の造成や市営住宅を併設した複合型公共施設の整備、田地の建て替えといった各種事業を進めています。また空き家を有効活用し、地域の活性化を図るべく、空き家バンク「おいでんし！佐久」を開設しています。これは市内の賃貸および売却希望住宅の所有者から寄せられた登録物件情報を利用希望者へ提供するため、多くの方々にご利用いただいています。



4 新幹線で東京から約70分。首都圏へのアクセスがスムーズ

佐久市はアクセスの良さも大きな魅力です。佐久平―東京間を約70分で結ぶ長野新幹線や、首都圏へ110分・日本海へ90分という上信越自動車道、さらに現在佐久―静岡間を120分で結ぶ中部横断自動車道の整備が進められており、人・モノ・文化が集う文化交流都市として期待が高まっています。



2013年2月、厚生労働省発表の都道府県別平均寿命(2010年)で、**長野県は男女ともに全国1位**になりました。

移住に関する各種アンケートで長野県は1位を獲得!!

ふるさと暮らし希望地域ランキング	移住したい都道府県ランキング	日本でいちばんいい県 都道府県別幸福度ランキング	空き家バンク物件数約数ランキング
1位 長野県	1位 長野県 (2009年から4年連続1位)	1位 長野県	1位 佐久市(長野県)
2位 岡山県	2位 千葉県	2位 東京都	2位 横須市(東京都)
3位 福島県	3位 静岡県	3位 福井県	3位 安芸太田町(広島県)

余暇の過ごし方も魅力充実

佐久市には気軽にに行けるゴルフ場や温泉地、観光名所やグルメスポットが白バラ自慢です。美しい自然の魅力を堪能し、佐久市でしか味わえない贅沢なときの流れを心ゆくまでお楽しみください。

ゴルフ

佐久市には、多彩なゴルフ場が力点をなし、高層ならではの爽快プレーをご満喫いただけます。

温泉

県内屈指、美肌の湯「春日温泉」など温泉も豊富。天然にはのんびりと心癒いお湯につかって、存分におくつろぎください。

星空

佐久市にある「JAXA白鳥宇宙空間観測所」のバラコランテナは、直径6.4mと日本一、空気が澄み大気も安定しているという理由から佐久市に設けられました。

グルメ

佐久市は産物名物の豊富をはじめ、ミソカツやワメンのおいしい街としても知られています。グルメを満ちた美味の数々に舌つみまをどうぞ。

イベント

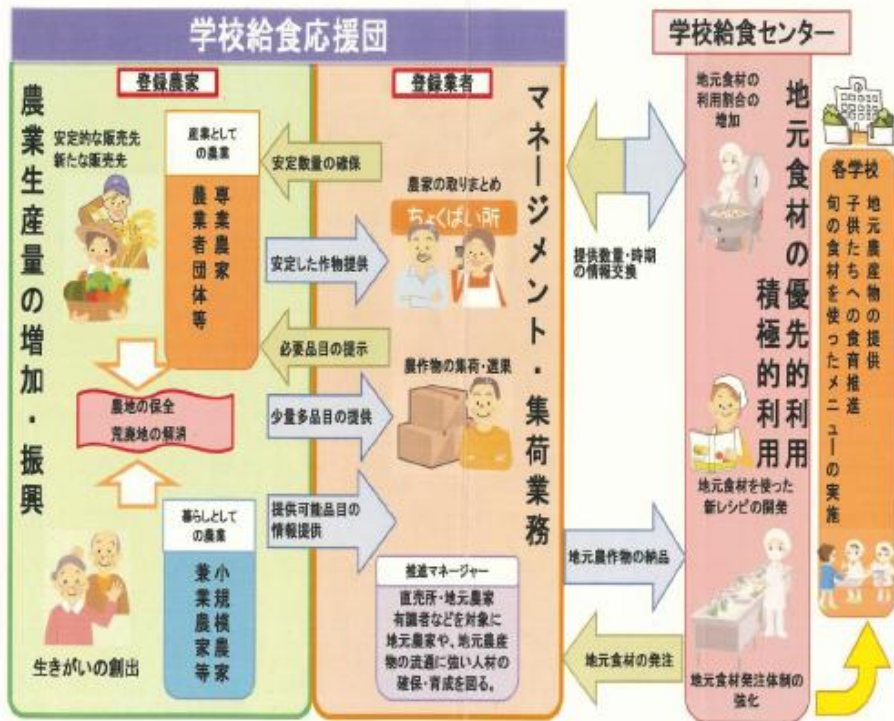
様々な催し物もいっぱい、特にGWに開催される「佐久パルーンフェスティバル」は40歳を超える色とりどりの気球が浮かび、全国から多くのファンを集めています。

スイーツ

佐久は上質な果物が収穫できることから、神戶、東京の自由が丘と並んで「日本三大ケーキのまち」と呼ばれています。職人技が凝らされた各種スイーツをぜひご賞味ください。

佐久市における市民活動

学校給食応援団による取り組み



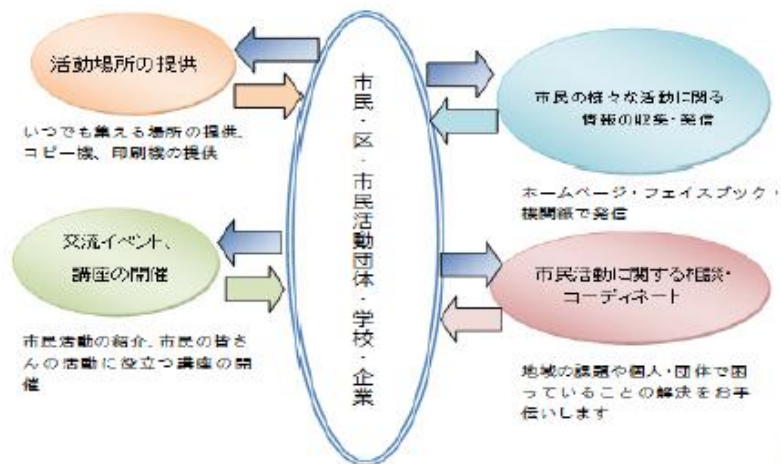
市民活動をサポートする拠点



「市民活動を通して社会貢献したい!」「自分たちの地域を自分たちで盛り上げたい!」「困っている人を支えたい!」「地域の課題を解決したい!」「同じ想いの人と交流したい!」そんなあなたの想いを形にするための市民活動支援の拠点です。

生きがい、やりがいをみつけませんか、

市民活動サポートセンターが応援します。



佐久市の文化・伝統芸能等

佐久市では、市民が主体となって、互いに個性を認め合い、学び合う生きがいある社会形成のため、生涯を通じて学習できる環境整備を推進しています。

また、市民一人ひとりが、年齢や体力、技能、嗜好、目的などに応じて日常的にスポーツに気軽に参加できる環境づくりに取り組んでいます。

さらに、地域固有の歴史や伝統・文化については、市民が日常的にふれあい、学ぶことができる環境整備を進め、地域文化の保存・継承に努めています。



市民訓練センター



コスモホール



佐久市立近代美術館



旧中込学校（国指定 史跡・重要文化財）



龍岡城跡（五稜郭）（国指定 史跡）



佐久総合運動公園



湯原神社式三番（県指定 無形民俗文化財）



跡部の踊り念仏（国指定 重要無形民俗文化財）



望月駒の里草競馬

各地域の祭り



望月 禰祭り



岩村田 祇園祭



浅科 上原鳥追い祭り



臼田 小満祭

佐久市における「生涯活躍のまち」の可能性

佐久市生涯活躍のまち構想推進の背景

◆国のまちづくりの方向性

- ・東京一極集中の是正
- ・東京圏居住者の移住希望
- ・生涯活躍のまち構想の検討
- ・住所地特例の拡大

◆市の課題

- ・人口減少の打破
- ・雇用の確保
- ・地域の活性化

◆生涯活躍のまちに適した佐久市の特性

- ・世界最高健康都市構想の推進
- ・医療・介護環境の充実、地域保健予防活動の取組み
- ・良好な自然環境、災害の少なさ
- ・高速交通網の結節点
- ・移住推進策の積極的实施
- ・盛んな地域の活動
- ・健康長寿のまち

佐久市生涯活躍のまち構想【手段・まちづくりの施策】

★短期的効果

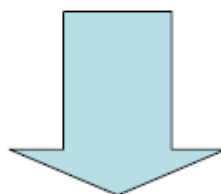
- ・人口増加（社会増）
- ・地域経済活性化
- ・雇用創出
- ・税収増加
- ・移住者と地元住民の交流による満足度の向上

★長期的効果

- ・まちぐるみの更なる健康増進
- ・新たな地域の担い手
- ・地域資源の再生
- ・医療機関連携の強化
- ・移住者と地元住民のきずなが深まることによる幸福感の増大

佐久市生涯活躍のまちビジョン

東京圏等の大都市に住む高齢者が、健康な段階から、希望に応じて本市に移り住み、移住した地域で地域社会に溶け込み、多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送る



地域の活性化を図るとともに、移住者・地域住民のきずなが深まることにより幸福感の増大

佐久市生涯活躍のまちコンセプト

佐久市の持つ地域特性

世界最高健康都市構想の推進

健康長寿のまち

健康講座、健康増進
事業への参加

医療・介護環境の充実、
地域保健予防活動の取
組み

安心して過ごせる
医療環境

盛んな地域活動

多彩な学習講座・
スポーツ活動への参加



良好な自然環境、
災害の少なさ

安心して過ごせる
生活環境

高速交通網の
結節点

利便性の良い
生活環境

移住促進策の
積極的な取組み

移住希望者への
アプローチ

佐久市の特性を生かし、地域の病院を中心とした
医療連携・健康づくり推進型生涯活躍のまち

佐久市生涯活躍のまち構想の全体像

コンセプト：佐久市の特性を生かし、地域の病院を中心とした医療連携・健康づくり推進型
 想定する形態：「都市型」と「農村型」の2つの形態を想定し、各地域をネットワーク化

入居者の住替え形態		大都市からの移住者 【これまでの移住施策を生かす】	
入居者の所得等		一般的な退職者（厚生年金受給程度） 【幅広い対象者を想定】	
地域的広がり		エリア型【地域特性を考慮】	
形態	【利便性重視】 都市型	佐久平駅周辺地区等	佐久平駅周辺など交通の利便性が高い市街地周辺における「街中のサ高住」を想定している。 大学や商業施設、公共施設等に近い地域で、これまでの経験を生かした軽就業やボランティア、学習講座や趣味のサークルなどの生きがいを持って生活することを想定している。
	【生きがい重視】 農村型	臼田地区等	山沿いや農村など、「自然豊かな地域の中におけるサ高住」を想定している。 農業や地域活動への参加など地域に溶け込み、積極的で創造的な健康をめざすとともに、地域住民とふれあい、きずなを深め、生きがい豊かな生活を想定している。

事業展開する地区の状況に合わせ具体的な内容を詰める。

想定される佐久市生涯活躍のまちのモデル

- ★総合病院:JA長野厚生連佐久総合病院本院
- ★臼田地区におけるコンパクトシティー化の進展
- ・佐久総合病院の再構築に合わせ、施設がまちなかへ集約
- ・佐久市臼田健康活動サポートセンターの整備

農村型(臼田地区)

自然に囲まれた生きがい豊かな場所での生涯活躍のまち



JA長野厚生連佐久総合病院 本院



コスモタワー



コスモホール



佐久市臼田健康活動サポートセンター
※整備予定



- ★総合病院:佐久市立国保浅間総合病院
- ★佐久平駅周辺での新たなまちづくりの挑戦

都市型(佐久平駅周辺地区)

都市機能が集約しているまちなかでの生涯活躍のまち



JR佐久平駅



佐久市立国保浅間総合病院



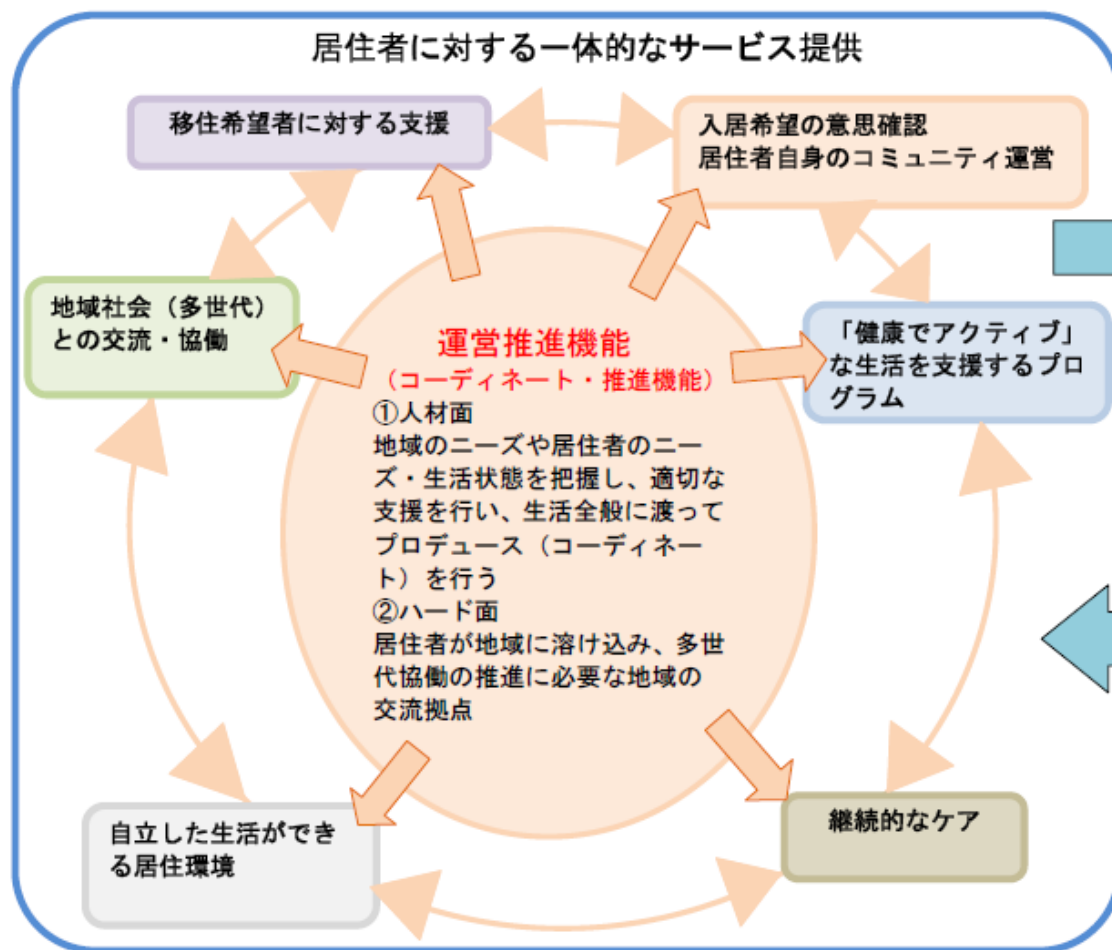
イオン佐久平店



佐久大学・信州短期大学

佐久市生涯活躍のまち構想の実現イメージ

佐久市内



東京圏

移住前の対応

- 移住促進のセンター等の展示ブースで市の情報を発信
- 市の対応状況を理解したスタッフによる相談対応・生活設計の支援
- セミナー・フォーラムを開催し、将来の居住者への情報提供
- 相談・カウンセリングを通じたお試し居住等への参加促進
- 施設開設の企画段階からの参画
- メディア・SNSツールで情報提供
- ニーズの調査やマーケティング

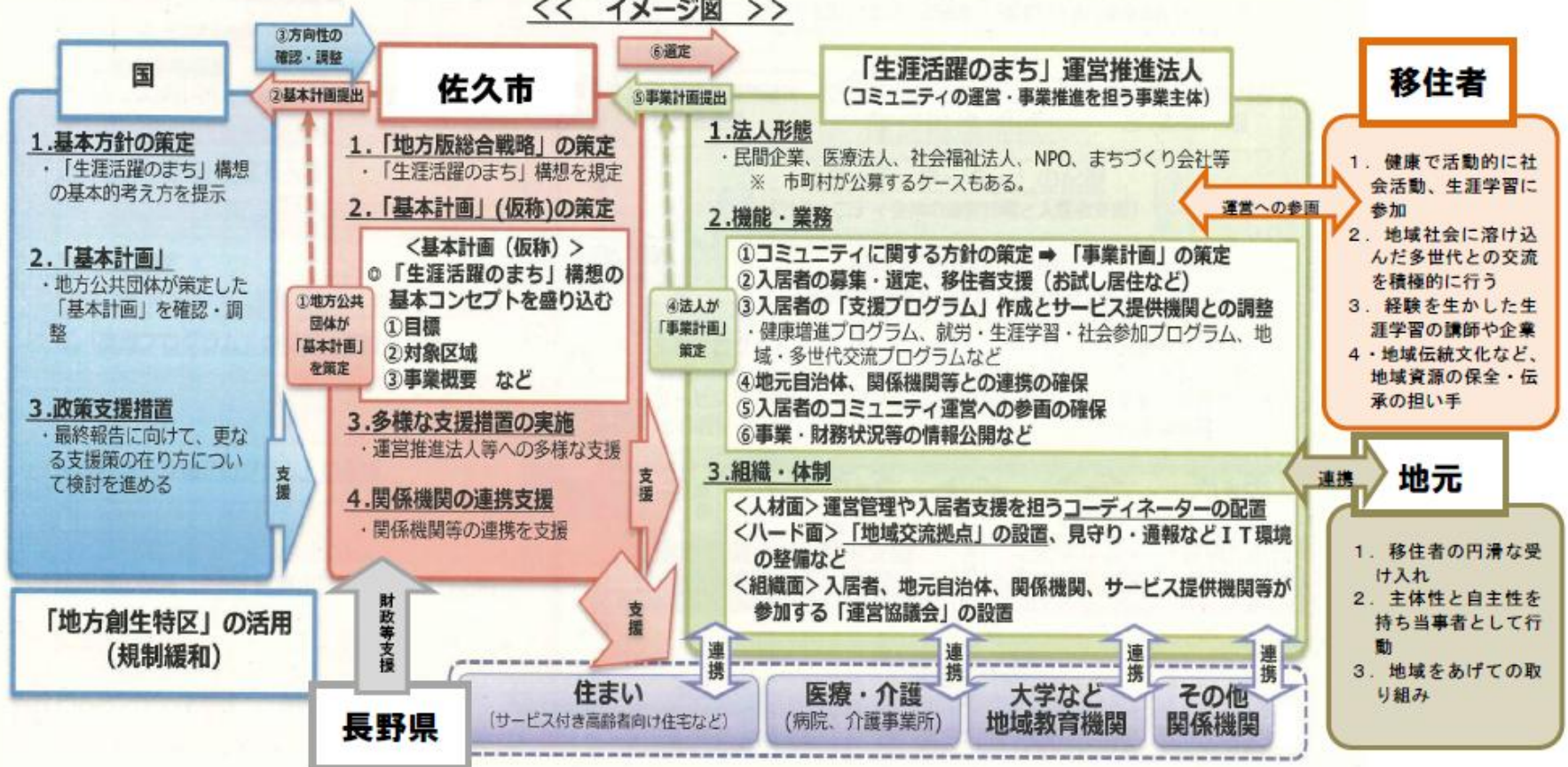
情報提供

移住

佐久市生涯活躍のまち構想における各主体の役割分担と連携

事業実施に当たっては、移住者や地元などの意見集約をボトムアップにより行い、地元・移住者、事業主体、本市が連携し、本構想を共有しながら進めることとする。

<< イメージ図 >>



佐久市生涯活躍のまち構想の事業化プロセス

1 市における構想・計画の策定

- ① 検討組織の設置（佐久市CCRC検討会）
 - ・官民検討会議の設置（大学・事業者・経済等の有識者）
- ② 構想のとりまとめ
 - ・コンセプトを固め、構想案をとりまとめ
 - ・構想のとりまとめ⇒「地方版総合戦略」に盛り込む
- ③ 実施エリアにて地元検討組織の立ち上げ
- ④ 「基本計画」の策定
 - ・対象地域、事業主体の条件等

2 事業化に向けての取組み

- ① 事業主体の選定
- ② 「事業計画」の策定
 - ・事業主体における施設や人材、資金の確保、事業内容の検討
 - ・事業主体による「事業計画」の策定
- ③ 入居者募集
 - ・入居者募集、希望者に対する事前説明、意見聴取など行う

3 事業の開始（入居開始）

その他・検討事項等

- 1 本市において、「生涯活躍のまち」を展開するに当たっては、「生涯活躍のまち構想（中間報告）」を基本とし、本構想に定めていない事項については、事業区域ごとに設定することとする。
- 2 事業区域ごとに特徴を明確するため愛称等を検討する。
- 3 「冬期間の寒さ」、「市内公共交通の状況」などの佐久市の状況を、移住者に把握・理解してもらうための情報提供を行う。
- 4 空き家屋や未利用建物などを地域資源として活用できるか検討を行う。